

上部消化管内視鏡（胃カメラ）検査に関する説明書 ※必ずお読み下さい。

ご不明な点は看護師、医師に質問して納得された上、内容に同意されましたら裏面に署名をお願いします。

【目的】

内視鏡を用いて食道、胃、十二指腸の病気や状態をみるための検査です。

【前処置】

はじめに胃の中をきれいにする水薬を飲みます。次にのどに反射を抑えるスプレー麻酔(表面麻酔)をします。経鼻カメラの場合は鼻腔にも表面麻酔液を注入します。

希望があれば、苦痛を和らげるための鎮静剤（意識下鎮静）を静脈注射で使用します。（追加料金 2,420 円）

★日本消化器がん検診学会の「安全性を確保するために鎮静剤は原則として推奨しない」という方針に従い、当センターでも鎮静剤使用は推奨していません。

【検査】

ベッドに左下横向きになり、内視鏡を鼻または口から挿入します。空気を送り込んで胃を膨らませて観察します。ゲップはできるだけ我慢してください。検査時間は約 7 分前後です。病変によっては、医師の判断で生検（一部を採取して組織検査を行うこと）やピロリ菌（胃がんのリスクとなります）検査を施行することがあります。

※実施した生検やピロリ菌検査は保険診療扱いとなります。当日（健診後）消化器内科外来受診となり、保険証を使ってのお支払いが発生いたしますので、ご了承ください。

（生検：約 4,000 円～、尿中ピロリ菌検査：約 600 円程度、他、受診料など）

【合併症・偶発症】

1. 水薬・スプレー麻酔・鎮静剤でまれにアレルギーが出ることがあります。また、それぞれの薬剤の影響で以下の症状が出ることがあります。
 - スプレー麻酔(キシロカイン)・・・声がかすれたり、のどの違和感がしばらく残ることがあります。
 - 鎮静剤(ミダゾラム)・・・まれに静脈炎や一時的な健忘症が起きることがあります。効き過ぎて体動が強い場合や、呼吸抑制、咳発作などで検査続行が危険な場合、途中で中止になることがあります。（料金の返却はありません）
2. 内視鏡挿入時、嘔吐反射の強い方は歯の損傷や粘膜の損傷による出血やのどの痛みなど、鼻からの方は鼻出血や鼻の痛みが数日続くことがあります。検査中の嘔吐反射・咳・ゲップなどで食道・胃接合部に裂傷が生じる場合や、唾液が気管に入り肺炎を起こすことがあります。嘔吐反射は鎮静剤使用にて弱まるわけではありません。
3. 生検に際しては少量の出血は見られますが、検査後に黒い便が出たり、腹痛やフラフラ感がある時は、すぐにご連絡ください。

以上のような合併症・偶発症が起こる確率は 0.04%程度で、当センターでは細心の注意を払いながら検査をしています。

万一、起こった場合は専門の医師が対応いたします。（その際はご自身の医療保険の適応となりますことをご了承ください）

【検査後】

表面麻酔の効果が切れるまで、検査後 1 時間は絶飲食・禁煙です。

- 鎮静剤を使用した場合・・・検査後 1 時間はゆっくり休んでいただきます。当日は車・バイク・自転車など乗り物の運転はできません。万一、事故を起こされた場合、当センターでは責任を負いかねますのでご了承ください。
- 生検を行った場合・・・出血の恐れがありますので当日は禁酒です。刺激物も避けてください。

***裏面をご覧ください**

※当てはまる項目にシ点チェックをお願いします。

- 説明書について何か質問はありますか？ ☐ ない ☐ ある
- 胃カメラの経験はありますか？ ☐ 初めて ☐ ある（ 当院 ・ 他院 ）
- ピロリ検査をしたことがありますか？ ☐ ない ☐ ある（ 陰性 ・ 陽性 ・ 結果不明）
☐ 不明 ピロリ除菌された方：（成功 ・ 不成功 ・ 未検査）
- 歯科麻酔・キシロカイン・造影剤でアレルギーを起こしたことはありますか？
☐ ない ☐ ある（薬剤名： ）
- 抗血栓薬（血液さらさらのお薬）を服用していますか？
☐ いいえ
☐ はい（薬剤名： ） → はいの方、今朝は？ ☐ 服用した ☐ 服用していない

●医師が必要と判断した場合は、生検(組織検査)・ピロリ菌検査をします。

生検については、抗血栓薬を内服されている方は、内容（2種類以上の内服やワーファリン内服など）によっては当センターでは生検は行わず、主治医への紹介状を作成します。

ご本人の事情で検査を希望されない場合は、チェックしてください。

☐ 生検は希望しません

☐ ピロリ菌検査は希望しません

- 少量の飲酒で顔が赤くなること（フラッシャー）がありますか？ ☐ はい ☐ いいえ

●鎮静剤について

☐ 希望なし 胃カメラ挿入は（ ☐ 鼻から ・ ☐ くちから ・ ☐ どちらでも ）を希望します
※どちらも細い内視鏡を使用します。

☐ 希望あり（追加料金 2,420 円）※くちからの挿入となります。

本日は運転不可となります。裏面の合併症・偶発症についても再度ご確認ください。

※鎮静剤は判断力の低下・ふらつき・転倒の危険性が高まるため、機械操作などの精密作業はできません。

※鎮静剤の効果には個人差があり、体調などで効果が違う場合があります。

※検査後回復室の空き状況によっては、検査前にお待ちいただく場合があります。

説明医師 _____

施行医師 _____

胃カメラ検査についての説明を受け、理解した上で検査を受けることに同意します。

いづろ今村病院 院長 殿

本人または代理人（本人との関係： ）

（記入日）

西暦 年 月 日

お名前 _____

2024 年 8 月 作成

2025 年 9 月 改訂

2026 年 4 月 改訂

